

人を見て言葉を変える上司について

「立場の弱い」方が悪いのですか？

みなさんは職場の上司から、理不尽な言動を受けた経験はありますか？

例えば、お中元・お歳暮や日帰りグルメ等の増収、JRKや○委員会等の自主活動に取組んでいなかったら、個人的に呼び出されて叱責を受けたり、また、**仕事でミスした際には、まるで犯罪者を見るような目で怒鳴られ、時には暴力を振るわれたり**…。

とある職場での話ですが、ある若手社員が勤務中、急に体調不良になり、そのことを上司に申告した際、その上司は、働けないなら、さっさと帰って病院行け！と不機嫌な態度で言い放ったそうです。また、当該若手社員が、ご迷惑をおかけします」と帰り際に言った事に対しても、**本当だよ**。まあ、体調不良なら仕方ないわな」と、冷たく返したそうです。

ところで、普段から、上司にこういった理不尽な攻撃を受けやすいのは、どのようなタイプの人間に多いと思いますか？

おまえが大人し過ぎるからだよ」もっと自分をアピールして、上司とは仲良くなっておくべきだ」。このような、ピントのずれた精神論をよく耳にしますが… おかしいと思いませんか？
なぜ、上司の理不尽な言動は問題にしないのでしょうか？

欲求不満・攻撃仮説とは

これは心理学の世界では有名な説で、ひとことで言うと、**日常生活における不満が攻撃性へと変換され、その矛先が関係のない他者に向かうという説です**。要するに、八つ当たりのことです。しかも、その対象は、自分より立場の弱い人間であることがほとんどです。現在、多くの業界が「クレマー」に悩まされていますが、その主な原因として、この説がよく用いられます。職場における上司と部下の関係についても、同じことが言えるのではないのでしょうか。このことから、前半で述べたような精神論をアドバイスとして用いることは、逆効果でしかありません。なぜなら、**ここで問題となるのは、攻撃される「側の言葉や態度ではなく、攻撃する「側の心の内面だからです**。自分自身を省みることもせず、**弱い**他人に当たり散らす人間…。そもそも、彼らは**強い**のでしょうか？

攻撃する対象を失ったら、その矛先はどこへ向かうのでしょうか？
また、新たなターゲットを見つけ出すのですか？



某大学の監督もこんな感じだったと思うけど…



若い力

第 98 号

2018年 7月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515